

鯨類資源量推定

国際捕鯨委員会による資源量推定に関する最新の情報

これらは現在、一部の鯨種および海域の最も良い資源推定(および信頼空間)である。

<http://www.iwcoffice.org/conservation/estimate.htm>

資源	資源量推定が該当する年次	およその資源量推定	およそ 95%の信頼限界
ミンククジラ			
南半球	1982/83 - 1988/89	761,000	510,000 - 1,140,000
	現在	IWC は現在信頼できる推定値を公表することができない。科学委員会において重点的に検討中である	
北大西洋 (中央および北東部)	1996-2001	174,000	125,000 - 245,000
西グリーンランド	2005	10,800	3,600 - 32,400
北西太平洋及びオホーツク海	1989-90	25,000	12,800 - 48,600
シロナガスクジラ			
南半球 (ピグミーシロナガスを除く)	1997/98	2,300	1,150 - 4,500
1978/79 から 2003/04 の間での推定増加率は年 8.2%である(95%の信頼区間で、3.8-12.5%の割合で増加している)。			
ナガスクジラ			
北大西洋 (中央および北東部)	1996-2001	30,000	23,000 - 39,000
西グリーンランド	2005	3,200	1,400 - 7,200
コククジラ			
北東太平洋	1997/98	26,300	21,900 - 32,400
資源は 1967/68 から 1987/88 の間に、年平均 174 頭の捕獲を行いつつ、3.2%(95%の信頼区間で 2.4-4.3%の割合で増加していた)。			
北西太平洋	2007	121	112 - 130
ホッキョククジラ			
ベーリング・チュクチ・ビューフ オート海資源	2001	10,500	8,200 - 13,500
1978 年からのこの資源の純粋増加率は、およそ年 3.2%と推定されている(95%の信頼区間で 1.4%-5.1%)。			
西グリーンランド沖	2006	1,230	490 - 2,940

ザトウクジラ

北西大西洋	1992/93	11,600	10,100 - 13,200
-------	---------	--------	-----------------

1979年から1993年の間、メイン湾で得られた資源量増加率は3.1%(SE=0.005)であった。

南半球、南緯60度以南の夏季(すなわち、不完全)	1997/98	42,000	34,000 - 52,000
--------------------------	---------	--------	-----------------

増加率 東オーストラリア:1981-96年、12.4%(95%CI 10.1-14.4%)、西オーストラリア:1977-91年、10.9%(7.9-13.9%)

北太平洋	2007	少なくとも10,000	まだ出ていない
------	------	-------------	---------

1990-2002年の間、北東太平洋でおよそ7%の増加率が報告されている。

セミクジラ

北西大西洋	2001	約300	出ていない
-------	------	------	-------

南半球	1997	約7,500	出ていない
-----	------	--------	-------

アルゼンティン、オーストラリアおよび南アフリカにおける資源の増加率は7-8%だという根拠がある。

ニタリクジラ

北西太平洋	1998-2002	20,501 (CV=0.337)	出ていない
-------	-----------	-------------------	-------

ゴンドウクジラ

中央および北東大西洋	1989	780,000	440,000 - 1,370,000
------------	------	---------	---------------------